

各 位

会 社 名 株式会社ジェイホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 澤畑 輝彦  
 (コード：2721、東証ジャスダック)  
 問合せ先 取締役 高木 宏  
 (TEL. 03-6430-3461)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 11 月 13 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向を踏まえ、2 月 18 日の平成 25 年 12 月期通期決算発表時に開示しました平成 26 年 12 月期（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の業績予想を修正することとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当期の連結業績予想の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	2,937	42	42	42	26.81
今回修正予想 (B)	1,610	△45	△48	△86	△49.32
増減額 (B-A)	△1,327	△87	△90	△128	△76.13
増減率 ( % )	△45.1	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (平成 25 年 12 月期)	877	△90	△94	△110	△72.31

#### 通期予想修正の理由

平成 26 年 12 月期通期の連結業績につきましては、当第 3 四半期累計の実績状況等を踏まえて見直しを行いました。住宅事業においては、第 3 四半期に太陽光発電設備の設置工事のキャパシティ不足が解消され、第 4 四半期からは売上・利益への寄与が顕著になるものの、第 3 四半期までは工事の遅れが響き、第 3 四半期累計期間において売上・利益共に当初予測を下回りました。

さらに、東北電力が再生可能エネルギーの固定価格買取制度 (FIT) に基づく電力の新規受入を当面中断

したことにより、当期完成予定のメガソーラー案件が来季以降にずれ込むこととなりました。不動産事業においては、不良債権不動産の売買案件に遅れが生じ、第3四半期累計期間において売上・利益共に当初予測を下回りました。

また当第3四半期におきまして、のれんの減損損失を計上しており、純利益を更に押し下げる結果となりました。当該減損損失についての詳細は、本日開示しております「特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

以上、これらの影響を織り込んだ結果、修正するに至りました。

※上記業績予想につきましては、現時点における合理的と判断するデータに基づいて作成しており、さまざまな不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以 上